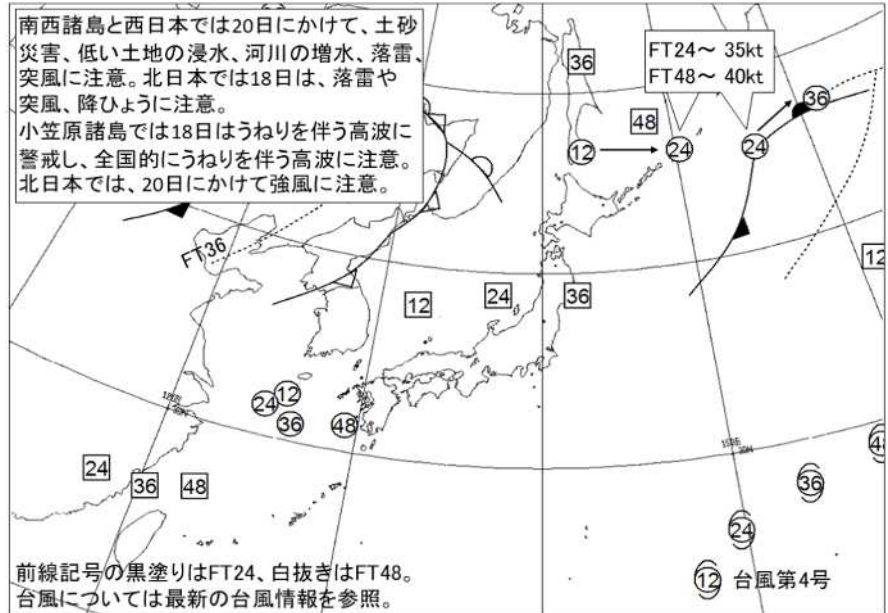


### 1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5760m付近のトラフが華中を東進しており、水蒸気画像の暗域が明瞭。東シナ海の低気圧は上空の低気圧性循環に沿ってトラフ直下に入るようにゆっくり北北西進。南西諸島～西日本は気圧の谷で、東シナ海では雷を検知。先島諸島近海では局地的に非常に激しい雨を解析。
- ② 500hPa 5520m付近の-24℃以下の寒気を伴ったトラフ直下の低気圧が沿海州を東進。この影響で、北日本を中心に強い風を観測し、トラフ前面の正渦度移流に対応する降水を観測。
- ③ 大型の台風第4号が、小笠原近海を北上。台風を波源としたうねりの影響で、北～西日本太平洋側と南西諸島では波が高くなっており、小笠原諸島では大しけの所がある。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは、19日は逆位相の中で一部が強風軸から切り離されて黄海～東シナ海を東進し、20日は地上の気圧の谷を伴い本州付近～日本の南を東進する。1項①の低気圧は上層トラフに先行されるため、20日夜までに九州付近に進んで不明瞭化。低気圧や気圧の谷周辺の下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が不安定となり、激しい雨が降って大雨となる所がある。局地的な対流雲の発達に伴う降水の強まりに留意し、低気圧の動きが遅いため同じような場所で降水が続く可能性にも留意。南西諸島と西日本では20日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷、突風に注意。
- ② 18日は、1項②の低気圧が宗谷海峡付近を通ってオホーツク海に進む。上空寒気と低気圧に向かう下層暖湿気の影響により、大気の状態が不安定になる所がある。また、強い風が吹き波が高くなる所がある。北日本では18日は、落雷や突風、降ひょうに注意し、19日にかけて強風や高波に注意。
- ③ 1項③の台風第4号は、19日にかけて南鳥島近海に進む。台風からのうねりが伝搬し、波が高くなり大しけとなる所がある。小笠原諸島では18日は高波に警戒し、全国的に20日にかけて高波に注意。
- ④ 20日は、500hPa 5580m付近のトラフ対応の低気圧が、前線を伴い日本海を北東進。低気圧や前線の影響で、強い風が吹き波が高くなる所がある。北日本では20日は、強風や高波に注意。
- ⑤ 全国的に日中は昇温するため、北～東日本の多雪地では20日にかけて、なだれや融雪に注意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

### 4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：小笠原6、関東・伊豆諸島4、その他広い範囲で3m。
- ③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西日本では注意報基準を超過する所がある。

### 5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。